

こぶし だより

働く障害者も
SSKW
働けるんだオレたちも



ツインリンクもてぎにて（けやき作業所）

CONTENTS

- ① トピックス 2P~3P
- ② 特集『国会請願に行ってきました』 4P~5P
- ③ ふれんどパーク 6P
- ④ こぶしサポーターズ 7P
- ⑤ アドレス・編集後記 8P

No.313

2007
7



「それは、それは、楽しい行事でした。仲間職員合わせて総勢三八名が参加したボウリングの試合を終えて」

会場からこぶしの食堂にもどり、いよいよ表彰式です。みんなの頭の中には「いつたい私はあれだけ一生懸命に投げたのだけれど何位になつたのだろう」という思いがいっぱいです。結果の発表がものすごく気になりました。昼食はそこそこに終わらせて発表会を待ち望んでいました。

いよいよ発表のときが来ました。レク部の役員さんからの発表です。

「本日の第一位は金田さんです。」金メダルと参加賞のフォトフレームを佐藤レクリエーション部会長から授与されました。金田さん(職員)は少し照れくさそらかげました。第二位の人には辞退し、樂摩さんが勇躍全体の第二位になりました。

銀メダルをかけて思わずガツツポーズで仲間の皆にアピール。大きな拍手で祝福されました。「続きまして第三位は、大橋さん。」表彰されても、無表情な顔をして

「それは、それは、楽しい行事でした。仲間職員合わせて総勢三八名が参加したボウリング大会を終えて」

個人対抗のほか、三～四人のレーンメンバーによる班対抗も行いました。こちらも予期せぬグループが一、二、三位を独占しました。第一位は、投できするための補助具を使用したメンバーでした。投できの照準を合わせることに集中したことが、良い結果につながつたことはまちがいありませんが、投できした後にピンが倒れた時の叫声が各グループの中で一番大きく、仲間皆の気持ちが乗っていたことが大きな勝利の原因になったようですね。

ところで、この大いに盛り上がったボーリング大会の一日の様子もユニークでした。

五月二六日(土)AM10時に、三〇人乗りのバスとくるみ号、市内送迎用バスの三台がインターパークのプラスワンボウリング場の駐車場に到着して、皆は一階の大きなゲームセンターには目もくれずにさつさとエレベーターで二階へ直行。ボウリングのピンの弾ける音とボウリング場独特の雰囲気の中に早々と体も気持ちも溶け込んでいくようでした。

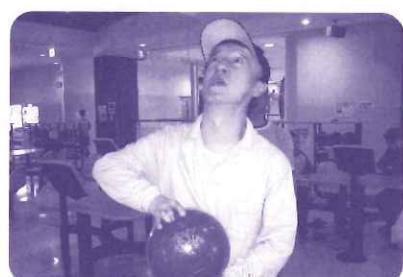
大橋さんの始球式で本年度のボウリング大会が開始され、あちこちで仲間のピンをはじく小気味の良い音が響き渡りました。

ストライクを取つてガツツボーズをして仲間から祝福の握手を求められる北畠さん。投げられたボウルが右へ左へとガード(特設)にあたりながら酔っ払ってストライクになつて涙を潤ませて戻つてくる田村さん。投できしたがピンになにも変化がなく一〇本のピンが整然と立つていた鬼頭さん。「スワ!ボウルが投でき後に消えてしまったのか」真相は隣のレーンのピンが倒れて、隣の仲間が大騒ぎしていました。なんで投げてもいいのにピンが倒れたんだ?ごめん、ごめんと謝つて許してもらひ事なきを。

投できの順番が来てもその場にいない選手。ビデオムービーでのぞいていたところ、カウンターの横の大きな柱の陰から出現。大急ぎでボウルを持って投できを完了。自分の結果を確認せずにまたボウリング場内を見学に出発。ガーテー防止のガードがあるのにガードの狭い空間を超えて不運にもガーテーになつてしまつた滝口さん。宝くじを買うと一等賞をあてるこが出来るのでないでしょうか???

座つたまま真っ赤な顔をして、力いっぱいボウルを投げて一本だけ残つてものすごく悔しそうな顔をしてもどつてきた牛丸さん。電子掲示のスコア表を見て今このところ一番、と自分の顔を指差して戻つてくる樂摩さん。車いすに乗つたまま重いボウルを抱えて投げましたが、途中でボウルが完全に停止してしまい、係員さんのお世話になつた新田さん。などなど今年のみのほんたの珍プレイに採用されそうな場面がたくさんありました。

仲間と職員の親睦を目的として開催したこのボウリング大会は、確実に目的を達成したものと確信しています。



「スコアはどうかな?」

福の握手を求められている北畠さん。投げられたボウルが右へ左へとガード(特設)にあたりながら酔っ払ってストライクになつて涙を潤ませて戻つてくる田村さん。投できしたがピンになにも変化がなく一〇本のピンが整然と立つていた鬼頭さん。「スワ!ボウルが投でき後に消えてしまったのか」真相は隣のレーンのピンが倒れて、隣の仲間が大騒ぎしていました。なんで投げてもいいのにピンが倒れたんだ?ごめん、ごめんと謝つて許してもらひ事なきを。

投できの順番が来てもその場にいない選手。ビデオムービーでのぞいていたところ、カウンターの横の大きな柱の陰から出現。大急ぎでボウルを持って投できを完了。自分の結果を確認せずにまたボウリング場内を見学に出発。ガーテー防止のガードがあるのにガードの狭い空間を超えて不運にもガーテーになつてしまつた滝口さん。宝くじを買うと一等賞をあてるこが出来るのでないでしょうか???

座つたまま真っ赤な顔をして、力いっぱいボウルを投げて一本だけ残つてものすごく悔しそうな顔をしてもどつてきた牛丸さん。電子掲示のスコア表を見て今このところ一番、と自分の顔を指差して戻つてくる樂摩さん。車いすに乗つたまま重いボウルを抱えて投げましたが、途中でボウルが完全に停止してしまい、係員さんのお世話になつた新田さん。などなど今年のみのほんたの珍プレイに採用されそうな場面がたくさんありました。



けやき作業所

との意欲が発信されています。今回の担当は沖津でした。追伸。ビデオもとりましたのでご希望の方はご連絡を。

開催にあたりレク部の役員さんから、ボウリング場には他のお客様も大勢きてるので迷惑をかけないよう気をつけようと働きかけがありました。行き、帰りの移動の時、ゲームをしているとき、ジュースを買いに行くとき、トイレに行つたときなど他のお客様に迷惑をかけることなく行動することができました。これは、全てこぶし作業所の仲間の皆がお互いに協力して助け合いをすることができたからです。倒れるぐらいい、大いに胸をはりました。

セルフ・みらい

利用者自治会フレンズ役員会より

セルフ・みらいでは、以前から、月曜日から金曜日の昼休みに喫茶コーナーを開店し、有志によつて運営されていました。しかし、コーヒーを作る利用者が限られていたこと、昼食後、休むこともなくコーヒーを作つたり、コップを洗つたりと忙しく、利用者の中に不満の声などもあり、改めて喫茶コーナーのやり方は見直すことになりました。

まず、一八年度の自治会役員でコーヒーメーカーについて話をしました。今までは業者からコーヒーメーカーをリースしていましたが、コーヒー豆やリース料を差し



「がんばりまーす

引くと赤字になってしま
い、コーヒーメーカーを
自治会費で新調し、自
治会で運営の仕方を話
し合いました。コーヒ
ーメーカーが変わり、コ
ーヒーの入れ方や水の量
などを勉強しながら、
楽しくやっています。

セルプ・みらい セルプ・みらい自治会役員選挙

六月に入り、ようやく作業所生活に落ち着きが見られるようになり、今まで動きがつくれなかつた自治会役員選挙を行うこととなりました。一八年度の役員が

「ハジツクがある！」

ご了し作業所

北
烟

三

国会請願に 行ってきました

特集



こぶしの会では第30次国会請願署名を5月31日(木)に各作業所の代表が国会に届けました。私たちのねがいがどのように受けとられたのか、その報告をします。

みなさんは国会請願署名運動を知っていますか?署名運動を通して、たくさん的人に障害者自立支援法の問題を伝えました。

国会請願運動は、みなさんからいただいた署名を各作業所がまとめて、きょうされん栃木支部が集計します。これを持って東京都永田町にある衆議院・参議院会館に行き栃木県出身の議員室をまわり、挨拶をし、請願書提出の賛同のお願いをしてきました。その感想をご報告します。

国会請願参加者の感想

衆議院第一議員会館の二階へ、セルプ・みらいの職員の竹居さんと行った時に、そこに集まつたたくさんの障害者たちがすでに集まつていて、俺は場違いな所に来ちゃつたかなと一瞬そう思つた。そして、迫りくる尿意と戦いつこれからことを説明していく人の話を聞いていたが、どうにもトイレが我慢出来ずに竹居さんに言つてトイレに行つたが、ほんの数分たつとまた尿意をもよおすという状態で、障害者自立支援法に対する意見に手をあげてみんなの前で言えなかつたのが残念だつた。

セルプ・みらい 竹村 達夫

今までにも何回か参加しましたが、今日は議員さんと話すことができたのでうれしかつたです。忙しいからと会つてくれない人もいましたが、

来年もぜひ参加したいと思います。
けやき作業所 見目 あい子

今回で三回目の参加ですが、今まで一番議員さんの対応が良かつた

ように思います。話を聞いてくれない人もいましたが、何名かはお茶を出してくれて私たちの話を丁寧に聞いてくれました。請願運動を続けていくことによって、私たちの生活に目を向けてくれる議員が増えてくれればと思いました。

けやき作業所 直井 信也

当日は、朝早く帰りも遅く体も神経も疲れたけど、先行きを考えれば不安で眠れない日々が続く。みんなの声を国会議員の方をはじめ、秘書の方のも届けることができたが、今後も今のままの法律が世界にむけられたものであつても通用するもののかを、再度考え直してほしいと思う。三障害一元化されたことや所得の保障、就職できるのか、自分の場合、家が途絶えてしまうのではないのか、という不安が尽きない。

第2けやき作業所 田野倉 均

国会議員に署名千人分を渡そうとする、前もつて連絡を取つていた議員以外は扉で応対されました。しかも秘書か事務員なのかもわからませんでした。なかには、署名を受け取つてもらえなかつた人達もいたようですが、僕達は、一三人回つて、とても疲れました。でも、天気予報で



こぶし作業所 田村 久仁子

第2けやき作業所 中谷 貴志

国会議事堂はテレビで見るより大きくて立派でした。周りにはおまわりさんがいっぱいいました。

訴えたことは「職員が給料が安くすぐやめちゃうから上げてほしい。職員が辞めてショックを受ける」「年金をもらつていても給食費が高いから給料をあげてほしい。給料が安くて買物ができるない」などです。お願いはとてもむずかしかつたです。

は雨が降るはずでしたが、新幹線に乗つて帰路に着くまで降つてきませんでした。とても疲れた一日でした。

第2けやき作業所 田中 一行

国会の審議までの流れ

＜はじめに、みんなで話し合いました＞
どうして署名を集めるのかを、みんなで話し合い、1人でも多くの人に自立支援法の問題を知つてもらうようにしました。

＜署名を集めました＞
仲間、家族、作業所の職員、障害者団体、学校、お店、近所の方に署名と募金を呼びかけ、内容を理解していただき署名を集めました。

＜5月31日、請願書を提出しました＞

請願は憲法に保障された（第16条）国民の権利ですが、請願しようとする者は議員の紹介によって、請願書を各議院の議長あてに提出します。そのため、国会議員を訪問して集めた署名を直接手渡し、請願の紹介議員になつてもらうように依頼しました。署名の直接請願は、国会が開催されますと、招集日から会期の終わる1週間前までの間提出することができます。ただし会期がごく短期間の国会の場合には、請願書を受理しないことがあります。



＜請願の審査＞

請願が提出され受理されると、請願の趣旨に応じて、いずれかの常任委員会または特別委員会に付託します。委員会では、付託された請願について審議を行い、採択すべき請願と不採択とすべき請願に、さらに採択すべき請願については、内閣に送付することが適當か否かをそれぞれ決定し、議長に報告します。議長は、これを本会議にはかり、採決の結果、採択または不採択が決定されることになります。

採択された請願のうち、内閣において措置することが適當とされたものは、内閣に送付されます。内閣からは、毎年おおむね2回、その処理経過について参議院に報告されます。なお、国会閉会後、請願を紹介した議員には、その審査結果が通知されます（国会法 第9章）。

この請願運動によって、小規模作業所に対する国庫助成制度、グループホームの創設など、これまで多くのサービスを実現させてきました。

第30次国会請願スケジュール

日付：平成19年5月31日（木） 場所：衆・参議員会館

9:00	現地集合	10:15~14:00	議員訪問・政党懇談会
9:30~10:00	事前学習・打ち合わせ	~14:30	各班まとめ・結果報告
10:00~10:15	各班で打ち合わせ	14:30~15:00	まとめの会

請願項目1

- 応益負担では必要な支援も受けられません
- 利用者負担は応益（定率）負担ではなく、負担できる能力に応じた応能負担を原則としてください。また、利用料の算定に当たっては本人収入のみに着目することとしてください。

請願項目2

- 国は私たちの通う小規模作業所を応援してください
- 小規模作業所が新事業にスムーズに移行するための支援策と、移行するまで小規模作業所として存続する間の支援策を、都道府県、市町村などと一緒に講じてください。なお、新事業体系と報酬単価を抜本的に見直すと同時に、報酬の日額払いを月額払いに戻してください。

請願項目3

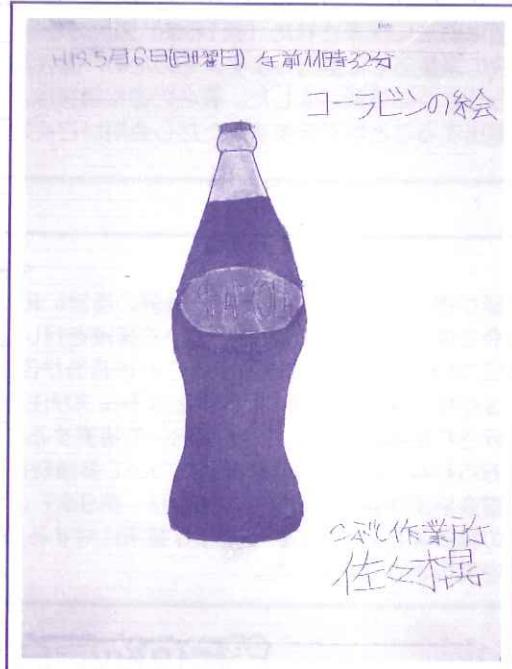
- 好きな街で安心して暮らしたい
- 障害者自立支援法の附則並びに附帯決議に記された地域生活をすすめる上での課題の解消（社会資源の量的整備、所得保障、障害範囲の見直しなど）に、早急に着手してください。

請願、不採択 !!

7月5日、国会は閉会となりました。今次の請願・署名は、衆議院・参議院ともに不採択になりました。
一方、与党が小規模作業所問題のみにしぼった請願は採択されました。小規模作業所問題でのきょうざんの主張が事实上受け入れられたことになりますが、たいせつな請願内容のすべてが採択されなかつたのは大変残念です。
ご協力いただいたみなさま、今回はほんとうにありがとうございました。引き続き、障がいのある人々が安心して働き、暮らせる施策の実現を目指す運動にお力を貸しください。



ふれんど パーク



さぎょうしょ
コーラボンの絵 by こぶし作業所

やすみあけの月ようび、家でかいた絵を作業室の
かべにはっていました。
ほんもの
え
本物そっくりのコーラの絵です。

バーベキュー by けやき作業所

れいねん おな ことし もおかのがしらうえん
例年と同じように、今年も真岡井頭公園でバーベキューを行いました。去年は、バーベキューな
にく すく いけん で こんかい ふんばつ
に肉が少ながつたという意見が出ていたので、今回は奮発して、
もおか おい にくや き やまくちせいにくてん
真岡で美味しい肉屋があると聞き山口精肉店というところで
ちか にく こうじゅう とうじつ てんこう しんぱい
20kg近い肉を購入しました。当日は、天候も心配されましたが
みな ひごろ あこな
皆さんのお頃の行いがよいようで、バーベキューをやっている時
かんたい てんこう あい にくた
間帯だけ天候がもってくれました。美味しい肉も食べられてみん
まんぞく ようす
な満足した様子でした。





～こぶしの会を地域の大切な社会資源に育てるため、私たちは強力にバックアップします～

マロニ工医療福祉専門学校・実習生からの手紙（けやき作業所）

だんだんと暑さが増している今日、みなさま変わらずお元気ですか。6月4日から8日までの5日間、本当にお世話になりました。

弁当班で3日間、パン班、販売班で2日間、あっという間に過ぎてしまいました。ホリディに行われたバーベキューに参加できなかったのは残念でしたが、参加した実習生から「楽しかったよ」と聞いたので、うれしい気持ちになりました。また一度けやき作業所に行こうと考えているので、そのときも元気な姿を見せて下さい。

けやき作業所で学んだことは、人の温かさと、誰であっても変わらないと言うことです。朝、「おはよう」と声をかけてくれたり、名前をすぐに覚え呼びかけてくれたり、初日私はそれだけで泣きそうになりました。

大学でいさつをしていないわけではないのですが、まだ知らない人なのにいさつをしてくれる、声をかけてくれるというのが本当にうれしかったのです。誰であっても変わらないというのは、私は最初偏見をもっていました。初めて行く場所への不安と、どんな人がいるのだろう、何を話せばいいのだろうなど、5日間という時間はながくて、早く終わってほしいとまでも、体験前は考えていました。

しかし体験に入ってみると、話しかけてくれる、話しかけることができ会話も友人、知人と変わらずにできることに気がつきました。何を言っているのかわからないこともましたが、それは友人との間にも生ずることで、気をあまり遣うことなく話し、接することができました。話したい、分かってもらいたいという気持ちはどんな人でも変わらずに持っている気持ちなんだと感じました。

体験5日間、人付き合いと共に技術も学ぶことができました。これから的生活にすぐ実践できるものです、本当にありがとうございました。

気温の変化が激しくなっていますので体調に気をつけ、これからもおいしいお弁当、パンを作って、笑顔で販売して下さい。5日間本当にお世話になりました。

第30回こぶし作業所 チャリティーバザー開催決定!!

10月7日(日) オリオン通り市民広場

◆物品提供にご協力ください！9/14まで◆

タオルや衣類・陶器・アクセサリー・玩具・雑貨など使わないけど、捨てるにはもったいない品物はありませんか？

こぶし作業所のチャリティーバザーをつうじて、新たな購入者のもとで品物たちが活躍できます。ぜひ、物品提供にご協力ください。

◆ボランティア大募集◆

事前準備・物品回収・当日スタッフ・作業所利用者付き添い

こぶし作業所後援会 ☎ 028-662-1911

保護者会の皆さんありがとうございました！(セルフ・みらい)

5月29日(火)に、保護者会による畠&駐車場などの除草作業がありました。この日は、朝から暑い日だったにもかかわらず、大勢のお母さん・お父さんも参加し、汗を流しながらきれいにしてくださいました。本当にありがとうございました。



ご協力ありがとうございました！

びっくり市
売上報告
(6月23日)

【総売上】 ¥48,050
【純利益】 ¥38,150
【ボランティア参加者】 5名
こぶし作業所後援会

社会福祉法人
こぶしの会

発行所 郵便番号二五〇〇三

特定非営利活動法人
東京都世田谷区砧六一二二一

定価五〇円

● こぶし作業所	〒321-0902	栃木県宇都宮市柳田町1401 TEL 028(662)1911 FAX 028(662)1912 E-mail kobushi@chive.ocn.ne.jp TEL 028(613)5703
● こぶし作業所生活支援センター		
● 在宅障害(児)者の相談・支援		
● こぶしのときわ荘	〒321-3235	栃木県宇都宮市鎧山町字東原146-7 TEL 028(667)5531
● く る み	〒321-0912	栃木県宇都宮市石井町字内野2867-3 TEL 028(664)0414
● け や き 作 業 所	〒321-3304	栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244 TEL 028(687)1040 FAX 028(677)5789 E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
● 知的障害者通所授産施設		
● 日中一時支援事業		
● 法人事務局		
● 生活介護事業けやき作業所		
● 生活介護事業		
● 第2けやき作業所	〒321-3303	栃木県芳賀郡芳賀町稻毛田1532 TEL 028(677)0495 FAX 028(687)4818 E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp
● 就労移行支援事業		
● 県東ライフサポートセンター「ほっとCHA」	〒321-3304	栃木県芳賀郡芳賀町1704 TEL 028(687)0311
● 地域活動支援センター		
● 県東ライフサポートセンター「真岡」	〒321-4305	栃木県真岡市荒町111-1 TEL 0285(83)2567 FAX 0285(83)2567
● 地域活動支援センター		
● すずらんの家	〒321-3304	栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2 TEL 028(677)4430
● 知的障害者グループホーム		
● け や き ハ イ ツ	〒321-3304	栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178 TEL 028(677)2876
● 知的障害者ケアホーム		
● 第2けやきホーム	〒321-3304	栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1204-4 TEL 028(677)0776
● 精神障害者グループホーム		
● コ一ポ峰	〒321-3304	栃木県芳賀郡芳賀町祖母井775-2 TEL 028(677)0776
● 知的障害者ケアホーム		
● セルプ・みらい	〒321-4363	栃木県真岡市亀山1043-23 TEL 0285(81)1155 FAX 0285(81)1177 E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp
● 知的障害者通所授産施設		
● 日中一時支援事業		
● ぼてつと	〒321-4364	栃木県真岡市長田字北原1451-2
● 知的障害者グループホーム		
● 芳賀地区障害児者相談支援センター	〒321-4305	栃木県真岡市荒町110-1 市総合福祉保健センター内 TEL 0285(80)7765 FAX 0285(80)7765
● 在宅障害(児)者の相談・支援		
● 県東・央圏域障害者プレ就業・生活支援センター	〒321-4305	栃木県真岡市荒町2-15-10 県東健康福祉センター内 TEL 090-4529-4871
● 障害者の就業相談・支援		

本会の定款、事業計画、財務諸表等を閲覧ご希望の方は、各事業所までお申し出ください (閲覧時間8:30~17:00)

私は知り合いに会うと「君の働いている作業所はいったいどんなことをしているの?」と聞かれることがあります。それはね…と答えようとしていますが、意外にも自分が普段働いている部署以外のことはうまく説明できなかったりします。せっかく作業所のことに興味をもって聞いてくれたのに、ちゃんと人に説明できないのは少し恥ずかしいかな?なんて思うときがあります。職員の皆さんには自分の作業所のことを胸を張って伝えることができますか?ということで次号からの特集では各作業所の紹介をしていく予定です。各作業所がちからを入れて紙面をつくります。皆さんお楽しみに。そして、我が作業所を大いにアピールしてください。

(鈴木)

編集後記

編集委員 枝雅紀 菊地豊 鈴木美輝 田澤幸子 廣本佳奈子 松本裕生